

## 高校1年 現代社会

# よりよく生きることを求めて 宗教と人間

## 学校全体の取組

「主体的・対話的で深い学び」  
の視点に基づく授業改善

## 授業の流れ

### 授業のポイント

本単元では、「よりよく生きる」とはどういうことかについて、対話的な活動を通して、先人たちの様々な思想をより深く理解するとともに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養う。本時では三大世界宗教について、成立目的や根拠となった社会的背景を比較しながら理解を深め、宗教とは何かについて考察し、自己の生き方について自覚を深める。



### 導入

宗教に関する事前アンケートを基に、宗教と自分たちの生活との関連について気付く。

### 展開

- ① 地図資料から宗教分布の特徴を読み取り、まとめる。
- ② 三大世界宗教についての特徴を項目ごとに比較する。
- ③ グループで各宗教の教えや、キャッチフレーズ等を考え、共有する。

### まとめ

本時の学習内容を踏まえ、「私たちにとっての宗教とは何か？～私たち何をもたらししてくれるのか？」について自分の考えをまとめる。

- ① 本時の目標や流れを明確にし、見通しを持って学習に取り組めるようにする。
- ② 生徒の興味関心を高め、追求したくなるような学習課題を設定し、主体的に学習に取り組めるようにする。
- ③ 適宜対話的な活動を取り入れることで、他者の考えを受容し、多様な価値観を互いに認め合うことができるようにする。
- ④ 終末の振り返りにより、自らの考えの変容に気付くことができるようにする。

### 指導項目

※学習指導要領（平成30年告示）解説公民編に基づく

- (1) 人間としての在り方生き方の自覚  
イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること。  
(イ) 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し表現すること。

### 評価について

ワークシート及び振り返りシートの記述内容を基に、先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現できているかを評価する。

### 目指す生徒の姿

- 自ら学び考え、判断し、行動できる。
- 多様性を認め、他者を思いやることができる。